



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 5 月 28 日
(2024年)

いわき市長 殿

提出者

住 所 福島県いわき市泉町下川字大剣1-133

氏 名 株式会社ケミクレア小名浜工場

工場長 舘 崇

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0246-56-1388

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ケミクレア小名浜工場
事業場の所在地	福島県いわき市泉町下川字大剣1-133
計画期間	令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	令和5年度(2023年度)の製造品出荷額 2,249,801千円
③ 従業員数	99名(令和6年3月末現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙1 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 参照	
	排出量	別紙2 参照 t	t
	(これまでに実施した取組) (1) 工程改良による排出量の低減、(2) 有償売却先の探索		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 参照	
	排出量	別紙2 参照 t	t
	(今後実施する予定の取組) (1) 工程改良による排出量の低減、(2) 有償売却先の探索		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (1) 工程、廃棄物種類、容器種類ごとに分別保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (1) 分別保管の効率化を更に進める(工程、廃棄物種類、容器種類ごとに)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙2参照 t	t
	(これまでに実施した取組) ・なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙2参照 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状、計画なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙2参照 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙2参照 t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙2参照 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙2参照 t	t
①現状	(これまでに実施した取組) (1)効率的な中間処理の実施(焼却・中和・他)		
②計画	(今後実施する予定の取組) (1)効率的な中間処理の実施を更に推し進める(焼却・中和・他)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙2参照 t	t
	（これまでに実施した取組） ・なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙2参照 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・現状、計画なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	-
	全処理委託量	別紙2参照 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2参照 t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2参照 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2参照 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2参照 t	t
	（これまでに実施した取組） (1) 優良認定事業者への処理委託		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	全処理委託量	別紙2参照 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙2参照 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙2参照 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙2参照 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙2参照 t	t
	(今後実施する予定の取組) (1) 優良認定事業者への処理委託の継続、(2) 認定熱回収業者への 処理委託		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画(令和6年度・2024年度)

㈱ケミクレア小名浜工場

単位:トン(t)/年

					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
					排出量	自ら直接 再生利用 した量	自ら直接 埋立処分 又は海洋 投入処分 した量	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
No.	廃棄物の種類	不要物等 発生量	有償物量	自ら中間 処理した 量				熱回収を 行った量	自ら中間処 理した後の 残渣量	自ら中間処 理により減 量した量	自ら中間処理 した後再生利 用した量	自ら中間処理 した後自ら埋 立処分又は海 洋投入処分し た量	全処理委託量 (直接及び自ら中 間処理した後の 処理委託量)	優良認定処 理業者への 処理委託量	再生利用業 者への処理 委託量	熱回収認定 業者への処 理委託量	熱回収認定業者 以外の熱回収を 行う業者への処 理委託量	
前年度 実施状況 令和5年度 (2023年度) 実績	1.	汚泥/0200	36.8	0.0	36.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.4	35.4	0.0	0.0	0.78
	2.	汚泥(生物処理)/0200	36.8	0.0	36.8	0.0	0.0	36.8	0.0	2.5	34.3	0.0	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0
	3.	廃油/0300	28.0	0.0	28.0	0.0	0.0	11.2	0.0	0.0	11.2	0.0	0.0	8.7	8.7	0.0	0.0	5.6
	4.	廃酸/0400	392.6	0.22	392.4	0.0	0.0	380.5	0.0	0.0	380.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5.	廃アルカリ/0500	557.9	0.0	557.9	0.0	0.0	555.7	0.0	0.0	555.7	0.0	0.0	0.005	0.005	0.0	0.0	0.0
	6.	廃プラスチック類/0600	15.7	0.0	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.6	15.6	0.0	0.0	10.9
	7.	木くず/0800	10.8	0.0	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	10.8	10.8	0.0	0.0
	8.	金属くず/1200	46.9	45.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.7	0.08	0.0	0.0
	9.	ガラスコンクリーリート・陶磁器くず /1300	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.53
	10.	その他（注1）	0.17	0.0	0.17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.17	0.075	0.0	0.0	0.0
	合 計	1,127	45	1,081	0	0	984	0	3	982	0	0	76	76	11	0	18	
本年度 計画(目標) 令和6年度 (2024年度)	1.	汚泥/0200	50	0.0	50	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	49	49	0.0	0.0	2.0
	2.	汚泥(生物処理)/0200	45	0.0	45	0.0	0.0	30	0.0	3.0	27	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	3.	廃油/0300	50	0.0	50	0.0	0.0	40	0.0	0.0	40	0.0	0.0	10	10	0.0	0.0	2.0
	4.	廃酸/0400	500	0.3	500	0.0	0.0	480	0.0	0.0	480	0.0	0.0	20	20	0.0	0.0	2.0
	5.	廃アルカリ/0500	1,200	0.0	1,200	0.0	0.0	1,150	0.0	0.0	1,150	0.0	0.0	50	50	0.0	0.0	10
	6.	廃プラスチック類/0600	25	0.0	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25	25	0.0	0.0	20
	7.	木くず/0800	20	0.0	20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20	0.0	20	0.0	0.0
	8.	金属くず/1200	50	48	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	0.2	0.0	0.0
	9.	ガラスコンクリーリート・陶磁器くず /1300	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	1.0
	10.	その他（注1）	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3	0.2	0.0	0.0
	合 計	1,943	48	1,894	0	0	1,701	0	3	1,698	0	0	181	160	20	0	37	

- (1)実績について : 前期末在庫および当期末在庫が存在するので、処理量等の合計が排出量と異なる場合がある。前年度(2022年度)の産業廃棄物在庫を当期2023年度中に処理している場合がある。
- (2)計画(目標)について : 前期末在庫および当期末在庫の存在については考慮せず(上記の実績値算出法とは異なる)。処理量の合計と排出量は等しくなる。
- (3)数値の有効桁数は原則として2以上とする。
- (4)No.2汚泥(生物処理)/0200については、自社内で脱水処理後、外部委託処理(焼却)。
- ・注1: 白熱灯、乾電池、水銀使用製品、小型電気製品類、及びPC類等について考慮。